

早稲田大学 スポーツ科学部 数学 講評

〔総合分析〕

出題形式	マーク式
試験時間	90分
特徴・その他	答そのものに更に数値をプラス、マイナスすることで、値として数がたかだか2桁におさえるように調整されている。

〔大問別講評〕

番号	出題内容	コメント	難易度
問1	雑題小問4題	どれも標準的な問題であるが、ポイントを得た問題である。	標準
問2	場合の数	場合分けがポイントになるが、どの設問も基本的である。	基本
問3	格子点問題	他の学部でも出題される頻出問題で、 x 軸上の格子点の入れ方と対称性に注目することがポイントになる。	標準
問4	数列の和と二項間の漸化式	数列の和と一般項との関係がテーマで、階差に注目すれば解法がすぐ見える問題。	標準

〔総合コメント〕

一見やさしそうに見えても完答するのは決して簡単なことではない。レベル的には教科書を十分に理解して、標準的な問題集をこなしておけばよいと思う。